

<資 料>

和牛産肉能力検定（直接法：平成28年度）

片岡博行

Individual performance test of sire in Japanese black cattle

Hiroyuki KATAOKA

要 約

候補種雄牛を雄子牛から選抜するため、公益社団法人全国和牛登録協会の定める和牛種雄牛産肉能力検定(直接法)を実施した。

- 1 平成28年度には7頭の直接検定を実施し、4頭が終了した。
- 2 検定終了牛の平均DGは、1.10kg、平均審査得点は83.23点であった。
- 3 検定成績、血統、体型等を総合的に評価した結果、「高美須」及び「秋藤花国」を候補種雄牛として選抜した。

キーワード：和牛、黒毛和種、種雄牛、産肉能力検定（直接法）、増体量

結 言

優良種雄牛を作出するため、県内優良雌牛から生産された産肉性及び種畜性が期待される雄子牛について、増体性、飼料効率及び種畜性を判定するため、和牛種雄牛産肉能力検定(直接法)を実施した。

肉用牛広域後代検定推進事業により認定された産肉能力育種価の高い繁殖雌牛から生産された雄子牛について産子調査を実施し、発育状況等の優れたものを検定対象牛として選抜した。

平成28年度検定実施の検定牛は表1に示したとおりで、父牛別にみると、「第1花国」の産子が2頭、「藤沢茂」の産子が2頭、「新初英」の産子が2頭、「北盛栄」の産子が1頭の計7頭であった。また、表2にそれぞれの検定牛の産肉形質に係る期待育種価を示した。

材料及び方法

1 検定種雄牛

表1 検定牛の概要

セットNo.	名 号	生年月日	登録番号	血 統			産地	検定期間
				父	母	母の父		
H28-1-1	高美須	H27.09.03	2015子受卵岡黒2103	北盛栄	たかみず81の1	百合茂	津山市	H28.04.12 ~ H28.08.02
H28-1-2	葵花国5	H27.08.22	2015子受卵岡黒5582	第1花国	てっこう1643	沢茂勝	新見市	"
H28-1-3	秋藤花国	H27.08.02	2015子受卵岡黒2083	第1花国	第11あきふじ	美津福	美咲町	"
H28-2-1	糸花初英	H27.12.07	2016子受卵岡黒282	新初英	いとはな11の8	糸藤(岡山)	美咲町	H28.08.02 ~ H28.11.22
H28-3-1	藤沢花茂	H28.06.15	2016子受卵岡黒1385	藤沢茂	てった2096	西花8	新見市	H29.01.17 ~ H29.05.09
H28-3-2	藤花沢茂	H28.06.13	2016子受卵岡黒1384	藤沢茂	てった2096	西花8	新見市	"
H28-3-3	新秀矢吹	H28.05.13	2016子受卵岡黒1161	新初英	しんはなやぶき2	安茂勝	真庭市	"

表2 検定牛の産肉能力期待育種価 (kg,cm<sup>2</sup>,cm,脂肪交雑基準値)

セットNo.	名 号	期 待 育 種 価							
		枝肉重量		ロース芯面積		バラの厚さ		脂肪交雑	
H28-1-1	高美須	69.646	(A3)	12.987	(A2)	1.425	(1%)	2.159	(1%)
H28-1-2	葵花国5	70.270	(A3)	13.862	(A1)	0.833	(A3)	2.111	(5%)
H28-1-3	秋藤花国	51.939	(B2)	11.402	(A3)	0.703	(B2)	1.871	(5%)
H28-2-1	糸花初英	65.216	(A3)	9.772	(B2)	0.572	(C)	1.443	(B1)
H28-3-1	藤沢花茂	81.176	(A1)	19.816	(1%)	0.714	(B1)	2.183	(1%)
H28-3-2	藤花沢茂	81.176	(A1)	19.816	(1%)	0.714	(B1)	2.183	(1%)
H28-3-3	新秀矢吹	54.256	(B1)	11.680	(A3)	0.954	(A3)	1.672	(A2)

( )内は、下記のランクを示す。

(1%):上位1%以上、 (3%):3%以上1%未満、 (5%):5%以上3%未満  
 (A1):10%以上5%未満、 (A2):15%以上10%未満、 (A3):25%以上15%未満  
 (B1):1/3以上25%未満、 (B2):平均以上1/3%未満、 (C):平均未満

なお、育種価は第41回育種価 (H28.4.1公表) による。

## 2 検定方法

公益社団法人全国和牛登録協会の定める和牛種雄牛産肉能力検定法(直接検定)<sup>1)</sup>に従い、次のとおり実施した。

(1) 検定開始月齢：6～7カ月齢

(2) 検定期間：112日間

(3) 検定飼料及び給与方法

濃厚飼料：直接検定用飼料を  
 体重比 1.0～1.3%制限給与  
 (DCP 12.5% TDN 70.5%)

粗飼料：チモシー乾草を飽食

## 3 調査項目

1日当たり平均増体量(DG)、365日齢補正体重、飼料摂取量、体重(2週間毎)、各部位測尺(4週間毎)、終了時審査得点

### 検定成績

平成28年度に検定が終了した4頭について検定成績を表3に示した。

#### 1 増体量

DGは、最も高かったのは「秋藤花国」1.23kg、最低は「高美須」の0.96kg、平均は1.10kgであった。

また、365日齢補正体重は、最高448.8kg「秋藤花国」、最低420.81kg「高美須」であり、平均430.6kgであった。

#### 2 飼料摂取量及び粗飼料摂取率

飼料摂取量のうち、蛋白質関連はCPで表示され、最高118kg「秋藤花国」、最低101kg「糸花初英」であり、平均107.8kgであった。飼料摂取量の内TDNは、最高627kg「秋藤花国」最低536kg「糸花初英」であり、平均572.3kgであった。

また、粗飼料摂取率は、最高が51%、最低が49%であり、平均は50%であった。

#### 3 終了時の発育及び審査得点

体高の最高は128.6cmの「秋藤花国」で、最低は「葵花国5」の125.4cmであり、平均は126.7cmであった。公益社団法人全国和牛登録協会の定める和牛発育標準(雄)に基づく発育判定では「5-(4)」が1頭、4-(5)」が4頭であり、良好な成績であった。

また、審査得点は、最高が「秋藤花国」の84.3点で、最低81.9点が「葵花国5」であり、平均は83.23点であった。

#### 4 候補種雄牛の選抜

平成28年10月4日開催の岡山県和牛改良委員会において、直接検定成績、血統及び体型等の結果を総合的に検討した結果、「高美須」及び「秋藤花国」を候補種雄牛として選抜した。

表3 検定成績結果

(kg,%cm,点)

セットNo.	名号	1日平均 増体量	365日 補正体重	飼料摂取量		粗飼料 摂取率	発育			審査得点
				CP	TDN		体高	( $\sigma$ 値)	発育判定	
H28-1-1	高美須	0.96	420.8	104	552	49	128.0	1.9 $\sigma$	5-(4)	83.5
H28-1-2	葵花国5	1.16	423.0	108	574	51	125.4	0.8 $\sigma$	4-(5)	81.9
H28-1-3	秋藤花国	1.23	448.8	118	627	50	128.6	1.4 $\sigma$	4-(5)	84.3
セット平均		1.12	430.9	110.0	584.3	50.0	127.3	1.37 $\sigma$		84.30
H28-2-1	糸花初英	1.05	429.7	101	536	50	124.6	0.5 $\sigma$	4-(5)	83.2
セット平均		1.05	429.7	101.0	536.0	50.0	124.6	0.50 $\sigma$		83.20
H28年度平均		1.10	430.6	107.8	572.3	50.0	126.7	1.15		83.23

## 参考文献

- 1) 和牛登録事務必携(平成25年度版).  
(公社)全国和牛登録協会編. 176-178